

心を澄ます毎日。

僕たちは、今日という日をどう生きるのか。

多様化し、情報あふれる社会の中で、
知らぬ間に流されてしまう未熟さが、
僕たちにはある。

だからこそ、教えに立ち返る。

起こってくることの中に、^をやの思いを探しながら、
教えに自らを合わせていく。

僕たちは、今日を「神一条」に生きたい。

僕たちは、今日という日をどう生きるのか。

世界に目を向けたとき、
身上に悩み、事情に苦しむきょうだいがいる。
だからこそ、問い続ける。

いま、僕たちに何ができるのか。

手を差し伸べ、寄り添う。

御守護を願うとともに、^をやの思いを伝える。
僕たちは、今日を「たすけ一条」に生きたい。

僕たちは、今日もおちばに心をつなぎ、
仲間と共に世界たすけの歩みを進める。

行く手は、世界。
^{おいて}追風は、親神様、教祖。

僕たちは生きる、心を澄ます毎日。

活動目標

- 一人が一人のおたすけ相手を
- 教えに触れる機会をつくる
- ひのきしんの実践

重点項目

第100回天理教青年会総会への会員結集